

令和7年度 事業所における自己評価総括表（ドットジュニア 都賀 第1教室（放課後等デイサービス・児童発達支援））

子ども家庭庁が定める「放課後等デイサービスガイドライン」「児童発達支援ガイドライン」に基づいて、さらに強化・充実を図るべき点（事業所の強み）や、課題や改善すべき点を整理・分析しています。この自己評価総括表をもとに、業務・サービスの資質向上や改善をしていくことを目的としています。

<保護者アンケート調査時期：R7/11/17~R7/12/5> <職員アンケート調査及び検討時期：R7/11/17~R7/11/25>

| 強み（※）だと思われること<br>※より強化・充実を図ることが期待されること | 工夫していることや意識的に行っている取組等  | さらに充実を図るための取組等   |
|--|--|--|
| 特別活動プログラムが充実している                       | 土曜日や祝日、長期休暇などの学休日はお出かけプログラムを意識的に取り入れている                              | 児童に人気のあるプログラムを定期的を実施していきます。                            |
| 児童に合わせた支援が来ている                         | 児童情報や支援方針の共有を定期的に行い、児童1人ひとりの対応について職員間で統一することが来ている                    | 日々の様子を共有し、支援方針を検討する機会を増やしていきます。                        |
| 朝礼や終礼時に支援内容の共有・振り返りを実施している             | 朝礼でその日の狙いや支援方法を共有し、終礼時に職員間で支援時の様子や気づきを共有し児童のステップアップに繋げることを意識して実施している | 日々の振り返りの中で、児童の課題を再検討したり、目標達成に向けてのスマールステップの検討を実施していきます。 |

| 弱み（※）だと思われること<br>※事業所の課題や改善が必要だと思われること   | 拠点として考えている課題の要因等   | 改善に向けて必要な取り組みや工夫が必要な点等   |
|--|--|--|
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・児童の関心のあるプログラムを知り、増やす必要あり</li> <li>・支援室を十分に活用出来ていない。</li> </ul>   | プログラム活動を実施する場所、自由時間で玩具等で遊ぶ場所が明確になっていない。  | 活動時のルールを決めて、児童が理解できるように教室内に掲示します。<br>児童の求めや職員の判断で、クールダウンが図れる場所として個室を使用できるように、体制を整えていきます。   |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・個別支援計画沿って支援が十分に行えていない。</li> <li>・保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行えていない</li> <li>・配慮すべき点については話し合いをしているが、全てが行動（支援）へ移せて（活かして）いない。</li> <li>・週次でのMTGや朝礼・終礼時に支援について共有されているが、実際に支援に入ると不足が多い。</li> </ul> | 個別支援計画の内容が十分に共有されておらず、支援内容に相違が生じていることがある。<br>児童の様子を共有するMTGで、活動時の様子を共有することが来ているが、課題に対する支援について話し合うことができていない。 | 保護者からの相談内容を職員間で共有し、児童の特徴に沿った支援方法を検討する。検討した内容を保護者にも共有し、日々の支援での様子を適宜報告する。<br>個別支援計画の内容の共有を定期的を実施し、次にどのように支援を実施していくか、MTGで検討していく。  |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・活動や送迎を合同で行うときの動きが分からなくなることがある。</li> <li>・非常時の対応については定期的に研修等が必要だと思う</li> <li>・未だ子育ての悩みについて私自身が受けたことがないため</li> <li>・マニュアル等の作成は進んでいるがいざという時の現場での対応には不安が残る。</li> </ul>                                       | 第1教室と第2教室で合同で活動・送迎を実施する場合に、事前の共有時間が十分に確保できていない。<br>職員間で悩みや疑問について、確認する機会が十分に確保できていない。                       | 合同で活動を実施する場合は当日のリーダー同士で流れやリスク管理を事前に調整する機会を設定する。送迎については、当日の朝礼時に、合同でMTGを実施し依頼内容等の確認を行う。<br>職員間で経験したことがない事例については、全体で検討し、対応手段を明確にする。マニュアルを研修のみにせず、プログラムに取り入れたり、職員間で定期的を実施する。 |